昭和43年6月30日　No. 182

広報 おおわじめ

編集と発行　鹿児島県肝属郡大根占町役場 総務課 文書広報係（電話 大根占局 1・69・254番）
印刷　逆瀬川印刷所（電話 140番）

みんなで
明治百年を
有意義に

明治百年記念特集号

あすの郷土に明治の士気を

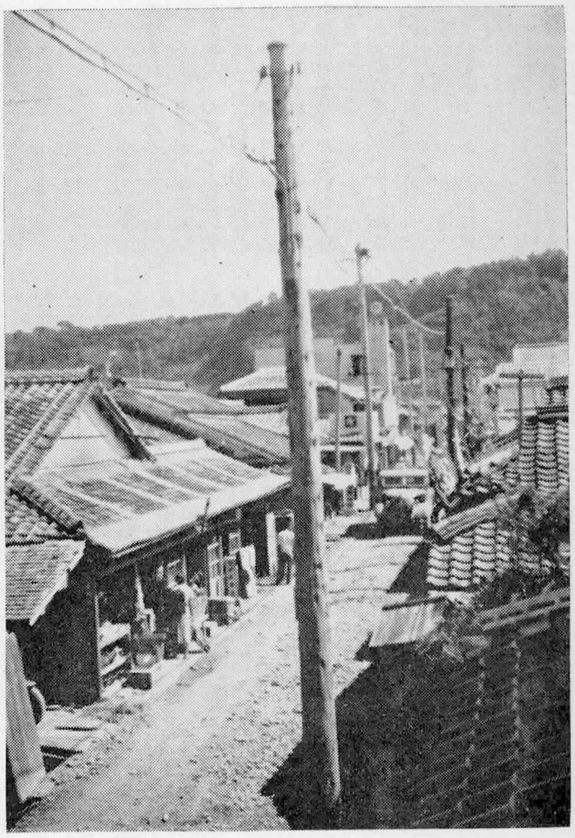
明治百年の意味するもの

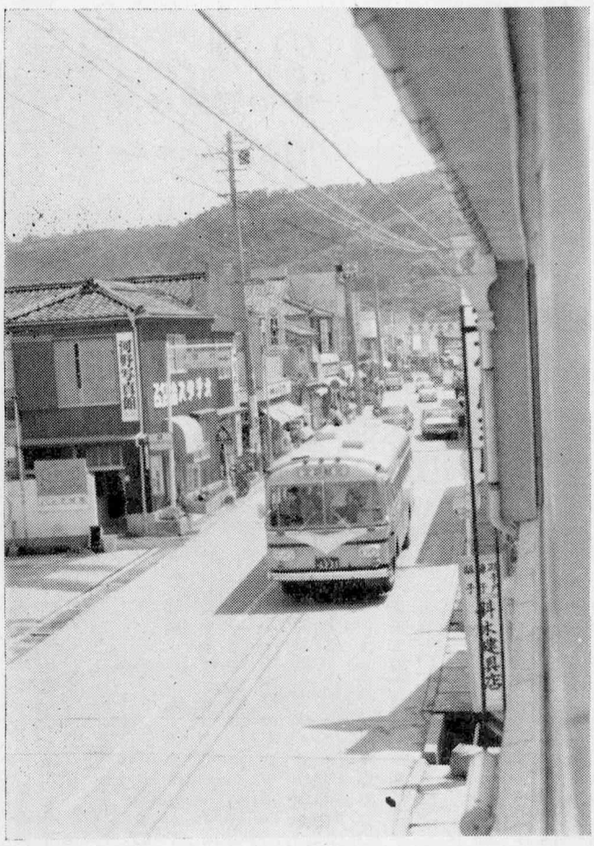
町長　坂元左武郎

明治維新の大業が果されてから、百年目に当る年を迎えました。

世界史上五大革新の一つと言われているこの偉大な改革は、私たち郷土の先輩によって達成されました。

いわゆる黒船の来航によって封建社会の眠をさまされてから十五年餘の間に、王政復古の大号令をはじめ、藩籍奉還や廃藩置県など、幾多の近代国家としての基礎となった維新の大業がなしとげられたわけであります。幕府の力衰え、世界の先進各国が開国貿易をせまり、正に「国難至る」の感があった当時の情勢下とは言え、三百年に及ぶ鎖国の眠から、近代国家へと、回天の大事業をなし得た原動力となったのは、当時鹿児島の人たちがつちかっていた。「死力をつくして、決然と行動する勇気」であった、と考えます。





それから百年、私たちの生きる現代は、たしかに当時にくらべて物質も豊かな世の中となり、教育も文化も、住民の福祉も向上して参りました産業経済の発達、科学技術の進歩が、機械化や社会的な変化を促し、それに伴って、人間本来の意義や価値が、ややもすれば見失なわれ、むしばまれてきつつあるような感がいたします。

維新の中心的役割りを果し文明国家建設の先駆として活躍された、西郷、大久保両先生を中心とした当時の鹿児島県人は、災害や貧困に負けずむしろそれによって自からを錬え、名声や私欲を超越した生き方を名誉あるものとして来ました。

今日、明治百年の記念行事や事業が行なわれますのは、単に、古きよき時代えの郷愁や懐古からだけでなく、過ぎた百年前の人たちが、如何に生き、如何に努めたかを知りこれに学ぶべきは学び、反省すべきは反省して、正しい認識の上に立って現代をみつめ将来の郷土のために役立つものにしたいという、建設的なものでなければならないと考えます。

新しい国家、すぐれた社会の建設がなされたその底にはそれぞれの時代における若い者のひたむきな情熱が、脈々として流れていたことを忘れてはなりません。このような若者を育てることが、現代に生きる私たちに果せられた大きな責務であると確信しますそれと同時に、私たち自身が、次代を生きる人たちに、すばらしい贈り物となるような社会を建設しなければならないことだと考えます。

以上のような考え方に立って、私どもは明治百年を心から祝い、記念の行事や事業をほんとうに意義あるものとしたいと思います。

皆さん方のご協力をお願いします。

写真……上は国道改修前の市街地と下は現在の市街地僅か十年前後の間に見違えるほどの発展をみせている。

とじて保存しておきましょう。

明治百年ということ

議会議長　川辺盛康

去る四月六日、皇太子御夫妻を迎えて、県の明治百年記念式典が挙行されました。昨年あたりから「明治百年」という言葉が盛んに云われ、金丸知事は「県政に新風を」というキャッチフレーズを掲げて就任され、県民の志気を高揚することに非常な熱意を然やしておられるようであります。ところが、そのような県当局の意気ごみのようには一般県民の盛り上りはみられないようでありますが、はなやかな記念行事、記念事業は別としまして、やはりおたがい一人一人は、この明治百年という時点を契機として、私たちの地域における過去及び将来というものを、じっくり考えてみる必要がありわしないかと思います。

この百年の歴史を振り返ってみますと、徳川三百年の封建泰平の治世から明治維新という革命を経て、近代国家建設への歩みをふみ出したのでありますが、ときの鹿児島には日本の南端にいながら、時世を洞察する卓越した人材がたくさんおられたと思うのであります。

今日の鹿児島は、経済的には日本一の貧乏県という有難くない地位にありますが、将来において、これをはね返してゆくには、この地域に住む人々の考えよう次第じゃなかろうかと思います。

いまの時代は、一年という時間が、過去の三年にも五年にも匹敵する進歩変転を遂げております。また、いま、世界のどこの国でも学生を主役にした革命的ともいえるような、時の権力者との抗争が続いており、新しい次の世代へ胎動を感ぜさせられるようであります。理屈ではなくて、おたがいは、このようなはげしい時世の流れというものを肌で感じるような気がするのであります。

大根占町も、このはげしい世の中の流れの中にある以上は、いつまでも安閑としているわけにはゆくまいと考えるのです。

私たちは、先覚者の築いたものの上に、現在の世相をみつめながら、三年後、十年後の大根占のあるべき姿を考えながら、豊かな地域社会を築き上げる努力を続けたいと思います。

私は、この明治百年という年を、むつかしい論理は別として、私たちの住む大根占町の将来、また、自分の家の五年、十年先の将来を目先のことだけでなく、おたがいに考える機会にしたいものだと思います。それが、明治百年ということの意義に適うものだと考えるからであります。

「青年は未来を語り、老人は過去を語る」＝しかし、わが大根占町では、老いも若きも、前向きの姿で、未来を語ることにしようではありませんか。

明治百年に望むもの

小・中学校の皆さんに

教育長　久米美裕

①、明治百年と郷土

昭和四三年は一九六八年で元号が「明治」と改められた一八六八年から百年目を迎えたわけです。

この百年の日本の歴史の流れをみるとき、世界の人類史上にその例を見ることができないほどのすばらしさで発展した時代、つまり世界の先進国にくらべて、はるかに劣っていた我が国が、ぐんぐん成長し充実して、肩をならべるようになった時代なのです。

この発展の土台となったのが明治維新ですが、その中心となって立ち働いた方々は、われ等の郷土鹿児島が生んだ西郷さんや、大久保さんをはじめとしたたくさんの先輩たちでした。

明治の歴史の中に、郷土鹿児島は生きているのです。

②、歴史読み物や伝記を読もう。

明治百年記念事業で計画し実施されつつある仕事にはいろいろありますが、特に記念出版物の一つに、歴史読み物として、「鹿児島と明治維新」があり、すでに県下の中学生全員に贈られています。町内中学生のみなさんもいただいたでしょう。

小学校五年、六年のみなさんには、「郷土の歩み」が贈られています。ポケット版で小さいものですが、これにはわたしたちのいまの生活と深いつながりのある郷土のおもなできごとが、わかりやすく書いてあります。

小学生、中学生のみなさんこれらの読み物を充分に読みこなして、自ら学びとってください。郷土の先輩たちが果した役割がよく理解され、新しい時代にみなさんが生きる「心がまえ」が生れてくることを信じます。

加治木中学三年の片山君は、「僕は、この本を読み終ってこれら先人の、自分を忘れて国のため、人のために没入した生き方そのものに、とても美しいものを感じ、強く感動させられ、これら先輩の生き方に学びたいと思う」と感想を言っています。

歴史読み物や偉人の傳記など、みなさんの学校の図書室に備えてあります。どしどし読んで自分を太らしてください。

③、記念作品展

明治百年記念事業の一つに児童生徒の作品の募集（作文習字図画）がありました。明治百年を迎え、先人の業績をたたえつつ、自分もまた郷土の新しい発展につくそうとする心情を育てるためのものでした。

町内のみなさんの作品は、作文八六点、習字一二二点、図画九四点でした。この中から優秀な作品を郡に送り、郡の審査で県展え出されました。

県の中央審査に提出された作品は、作文五二八点、習字二二九七点、図画二二八六点の多数でしたこのうち肝属郡から特選になったものは、合計五点（作文二習字一図画二）

④、ねばり強い人に育とう。

社会に出て働くためには、体が健全であることが第一の条件です。身体検査の結果からみると、みなさんの体位は全国平均や県平均にくらべて不十分です。

学校給食がはじまったのもみなさんの体位や健康の増進をはかるためです。自分を健康に育てるために、いつも工夫し、努力していくことです。

また、職業をとおして、社会に奉仕していくことは、すばらしいよいことです。しかし、それを最後まで果し通すには、なみたいていの努力ではすまされないものです。西郷隆盛や大久保利通が、国事に奔走した「ねばり強さ」、これはみなさんの一人一人にとって、大切なことです。

明治百年の意義あるこの年にこそ、決意を新たにし、心身を鍛え、勉強に努力しつつ「ねばり強い人」に育っていくことを望みます。

町章・町民歌の制定や

プールの建設など

＝町の行なう記念事業＝

明治百年を記念して、国や県ではいろいろな記念の行事や事業が行なわれております。

本町でも、大根占町としてふさわしい事業や行事を実施することにしています。おもな内容は次のとおりですが皆さん方も、この種事業や行事の行なわれるほんとうの意義をよく理解くださって、ご協力ください。

◎町章・町民歌の制定

町内・外を問はず広く一般から募集します。

応募要領は、別記として詳しくおしらせいたしましたが町章・町民歌とも広く私たち町民に親しまれ、本町の町章町民歌としてふさわしいものを作って、どしどしご応募ください。

◎郷土誌の編さん

これまで本町には町の生いたちを知る「郷土誌」がありません。町ではきょ年六月に「町誌編さん委員」として六人の先生方を委嘱し、いまいろんな調査をしているところです。製本発行されるのは昭和四五年ごろになる予定ですが、古い資料などおもちの方はできるだけ提供していただいて立派な郷土誌ができるようご協力をお願いいたします。

◎プールの建設

次代をになう青少年を心身ともに健全に育てていこうとかねてからプールの建設が考えられていましたが、この機に実現させようというものです。

二五メートル，七コースを工費約三六〇万円で作るもの場所は、旧南大隅高校跡が予定されています。

◎児童生徒の作品展

小・中学校の児童生徒に、明日の郷土を築く豊かな心情を養なう目的で、町内児童生徒の作品展を、教育委員会の主催で開きます。時期は例年と異り、ことしは二月に予定されています。

◎記念植林の実施

すでに実施されておりますが、町議会、役場、町青年団民生委員会、町有林見締り人の方々の御協力を得まして、町有林三ヘクタールに、松、杉、ひのきの植樹がなされました。

明治百年記念祝典に参加して

神川上　小園増広

明治維新から今年で百年、明治維新は近代日本の夜明と言われ、その主役達は我鹿児島県の先輩達でした。県でもこれを記念して四月五、六日の両日、明治百年記念青少年のつどいが行なわれ、私も参加しました。県下から集った青少年男女四〇〇〇名による共同生活、奉仕活動、仲間作り、皇太子、同妃殿下をお迎えしての記念式典音楽のつどい、営火のつどいと多さいな行事があり、感激した。四〇〇〇名の合同練習があり、本番は夜六時から八時二十五分迄行なわれた。夜が近ずくにつれ、ふんい気も盛り上りいよいよ本番、白一色に身をつつんだ若者のむれ、ライトがつき、グランドがくっきり浮きだされ、開式の順、司会をフランキーさんにむかえての音楽のつどい、皆と一しょにむかしから、よく口ずさんだ歌を合唱、特にフランキーさんが私達に向って弟ヨー妹ヨーそうして私達がオーと叫んだ時は、感激し、よし何かをきっとやって見せると心の底からファイトがわいた。

明治の先輩達は勇気があった。根性があった。そうして人の為、世の為につくす努力をおこたらなかった。私達現代青年も勇気をもって進むべきである。そうして、社会に奉仕する精神をやしなおう。失敗を、おそれてはいけないと思う。私は今経済的にも非常に苦しく楽な生活ではないが、青年として、ほこりを持っているし青年時代が楽しくてしようがない。青年お互に自分の考え、意見は堂々とのべよう。そうしてあらゆる人と、友と、接し、勉強し手を取り合って、前向きに進んでいこう。

池中三年　迫　輝昌

四月五日と六日、本町を代表して記念祝典青少年のつどいに参加した。この目的は、本県青少年としての自覚と誇りを持ち、集団活動を通じて強い責任感、すぐれた決断力や勇気、そして豊かな人間性を養い。また、明治維新に活躍した郷土の先覚にこたえ、その意義を若い世代につたえようとするものであった。

自分も団体の一員として、だれ一人として、知っている人もいない。そのうえ、高校生、又は小学生といっしょになって活動するのであるから非常に苦労した。しかし、まを得て盛大に実施されましたわたしたちは夜の集いの後四会場に分かれて幕営をし各会場共一千名近い青少年、幕営施設は粗ぜんと設営され秩序ある集団生活の美しさを感じさせるものがありました。翌日は朝六時から城山公園、南洲墓地等市内十ケ所の史跡のたこういう苦労の中にも楽しいことがあった。というのは同じテントの中で、心を一つにして話し合うということである。ついさっきまで、話したこともなければ、逢ったこともない、全然知らなかった人達とも、もうみんな仲間なのだ。このことは、ぼくにとって一生忘れられない思い出になるであろう。

宮脇　新盛　充

去る四月五、六日の二日間明治百年青少年の集いが挙行され青年団員から十名ほど参加させて頂きました。

鴨池球場に皇太子殿下同妃殿下のご臨席のもとに県下三千名の青少年による前夜祭各市町村より郷土芸能が披露され仲間作りの為幕営が行なわれました。

翌日は各分団ごとに分かれて奉仕作業11時より式典が行なわれた。会場には先覚者の写真が二階下に掲げられていた会場中央には県章が写し出され、そのまわりを色とりどりの花でふちどられていた。

静かに流れる音楽のもとに、先覚者の写真がスクリーンに写し出され、その子孫を紹介された。11時15分場内のわれるような拍手に迎えられて皇太子殿下同妃殿下のご来場、君が代斉唱のあと、中学生、高校生、働く青少年、成人代表の県民の言葉、誓いの言葉を唱和し、県民歌を出席者全員で合唱し万歳三唱のあと式典は終った、これを機に私達県民は、明日の郷土発展の為新たな決意を固める事が最も大事ではないかと思う。

私達青年団員も青年である意義と又これから先私達が郷土発展の為尽力せねばならないのではないかと思う。

前向の姿勢でお互い手を取り合い本県の為の振興に立ちあがろうではありませんか。

が思い出されます。この日は私にとつて永遠の思い出になるでしょう。私は今までぼんやり過ごして過去の輝かしさだけ見るのでなく、明治維新の若者の「やろう」という激しい気力が自分達の、血にまざつているのを知りました。

そして、地域社会や◇家や、世界の中の一人としての自分を知らされました。私が今こうして、勉強していることはどこかで何かの形で誰かとつながつているのだ、自分だけの勉強ではない。もつと広く知り、もつと自分を高めたいぼんやりしていた私の心の中明るい光がさしかけてきたのを感じます。

貢献したいという考えを持つていると思います。青年として、自分達の郷土を、明るく楽しく発展さしてゆきたいものです。私達の町内にも、若い青年達が農業に正面から取り組んでいますが、数少ない若者でもやろうというファイトのもとに一生懸命頑張つています。この立派な後継者たちに周囲の方々も、あたたかい声援を、おくつて下さい。

私青年達もいろんな活動に励み、少しでも町のため部落のために尽くしたいと努力していますので我が子供と同様に私達青年も扱い、また、見守つてほしいと思つています。

大中三年　斜木光子

私は、明治百年記念式典に参加しました。初めはとても行くとは考えられなくて、何だか心配でした。バスに乗っている間に、落ち着いてきました。生まれて初めて皇太子美智子両殿下を見た時、うれしいというよりも、ただぼーとして見つめているばかりでした。気がつくと、広い体育館いっぱいの拍手の波でした家に帰って、母が「最高によかつたねえ」と言いました落着くにつれ一つ一つの場面はできません。青少年のつどいに参加して、球場一ぱいに集つた青少年たちは、頭から足まで白一色で、いかにも青少年の元気な、そして、一人一人の考えまでが一致しているかのように感じられました明治から昭和のいろんな歌を合唱し、ダンスを踊り、青少年のいろんな芸を披露し、二日間がただちにすぎてしまいました。現代の私達青年は、いつたいどうあるべきかということを、感じさせられました。時代の変遷と共に、考えも新になつてくると思いますが、人間だれしも、生きてる限りは社会のために少しでも

協和　牧原キヨ子

四月五日、六日皇太子御夫妻を迎え、明治百年記念行事が開催されました。大規模な計画のもとに、参加者一人一直も大変緊張している様子でした。

明治百年といつても、現在の私には直接感ずるものはありませんが、明治元年からことしまでが、ちようど百年になる、これ程にしか感じること

町では、明治百年を記念して、町章と町民歌を制定することにし、次の要領で懸賞募集することにしています。

私たちの大根占町にふさわしい立派な町章・町民歌ができるよう、多数ご応募ください。

募集要領

※町　章（図案）

◎図案の内容

簡潔で、本町の平和、団結将来の発展を表わすもので、町旗にも使用できるものであること。

◎応募の方法

1応募の資格は問いません。

2応募用紙は画用紙（縦26cm横38cm）を用いること。（一枚一点とする）

3作品の裏面に、住所、氏名（ふりがな）年令、職業（勤務先）を明記すること。

4色彩は三色以内とする。

5作品の内容を説明する資料を別紙として添付すること

◎審査と発表

1入選作品は、別に町で設ける「町章選定委員会」で審査決定する。

2入選作品の発表は、直接本人に通知するほか、町広報紙その他の方法でする。

◎賞金

入選一点、二万円

佳作二点以内、各三千円

◎その他

1一人何点でも応募できる

2応募作品は返さない。

入選作品の版権は、本町に帰属する。

3、町章には、入選作品に補作採用することがある。

※町民歌

◎歌詞の内容

郷土色にあふれ、広く町民に親しまれ、愛唱されるものであること、おおむね一節五行以内で三節以内とする。

◎応募の方法

1、作品はB4版、四〇〇字詰原稿用紙に縦書でペん書とすること。

2、別紙に住所、氏名（ふりがな）年令、職業（勤務先）を明記して添付すること

◎審査及び発表

1、入選作は、町で設ける「町民歌々詞選定委員会」で審査決定する。

2、入選作品の発表は、直接本人に通知するほか、町広報紙その他の方法でする。

◎賞金

入選作、一点、五万円

佳作、二点以内、各五千円

◎その他

1、応募は資格を問はない。一人何点でも応募できる。

2、応募作品は返さない

入選作品の著作権は、本町に帰属する。

3、町民歌には、入選作品に補作採用することがある。

◎町章、町民歌とも、応募の締め切りは、八月二十日とする。（当日の消印あるものは有効とする。）

◎入選作品の発表は、九月二十日の予定

十一月上旬開催予定の町民運動会において、町章、町民歌の入選作品の発表会を行なう。

町章、町民歌の応募作品の送り先及び募集についての問い合わせは

鹿児島県肝属郡

大根占町馬場一〇番地

大根占町役場

文書広報係です。

町章　町民歌　を募集します

応募締め切りは八月二十日

郷土の文化財

町内には、昔の人の残した貴重な史跡、文化財等がたくさんあります。

これらは、古い時代の社会生活文化を知るうえに大事な資料となるものです。

町ではいま、郷土誌の編さん準備をしていることから、いろいろな方法でその発掘に努めていますが、これまでの調査で得られた中からおもなものの一部を紹介いたします

なお、これらのほかにも相当数の古文書類や遺品等が、皆さんの家の天井裏や物置などにしまわれたままになっているのではないか、と考えられます。これらの品は、虫にくわれたり、湿気によって全く用をなさないものになるものです。ですから、昔からの家とか、旧家と呼ばれるようなご家庭では、できるだけ早く適当な処置をすることが大切です。ごめんどうでも今一度探してみてください。

役場でもこれらの品が発見されたら郷土誌の参考として是非必要ですので、総務課文書広報係までお知らせいただくようお願いいたします

◎横尾峠

鹿屋市大姶良と本町の境にある。標高約三六〇米、自衛隊鹿屋基地をはじめ、鹿屋市一帯を眼下に見おろし、錦江湾を一望におさめ得る影勝の地、かって天正二年（約三九四年前）肝属勢と禰寝勢との激戦の地として知られている

◎皆倉の遺跡

皆倉部落上の台地、鈴野神社西南一帯にひろがる広大な面積をしめる。やよい時代後期の大遺跡である。

遺跡は、耕作等の関係で相当あれてはいるが、土器、石器の遺物を多量に包含している。

◎高城跡

高城、一名神川城とも呼ばれ、藤原姓称寝氏数代の居城であった。初代義光がここを本城としてから、浜田、大姶良、志々目、野里、横山等の地域まで含めて治めていた。

城ケ崎港にせまるいわゆる高城の突端にあり、東方は堀（幅一〇米、深さ四米、長さ二五〇米以上）が四重に廻らされ、この方向からの侵入を断ち、相当堅固な城であったことがうかがえる。

◎山ノ口祭祉遺跡

山ノ口部落のはずれの田圃の一角に、記念碑が建立されている。やよい時代中期の祭祀遺跡として、全国的にもまれにみる学術上貴重な遺跡である。

◎松崎砲台跡

文久三年（一八六三年）薩英戦争時、薩藩は海岸沿線の防備を固めるため、各所に砲台の構築をなした。

松崎砲台もその一つで、場所は現老人ホームの北方約二〇〇米、大橋下部落の一部に当る。

薩英戦争では、本町にも英国軍艦から発砲した砲弾数発が落下したという。中の一つの火煎（せん）（焼痍弾）は現在鹿児島市磯の尚古集成館に保存されている。

◎旗山神社

旗山神社は古くは旗山大明神とよばれ、城元字押領司にある。古文書によれば、禰寝院二十枝山（はたえだ山）といい、島津氏がこの山中の竹を戦争用の旗竿としたことから、旗山といわれるようになったとも伝えられる。創建等ははっきりしないが、平家落人説にゆかりのある土地であるところから、鎌倉時代のころと考えられる。

祭神は、天神七代十二柱、地神五代五柱、計十七柱、境外に、加覧神と呼ばれる樟の老木がある、幹廻り十六米、樹高五二米、樹令六〇〇年以上。

◎河上神社

昔から大根占郷の鎮守の社として、領主禰寝及び島津氏の信仰厚く、長く当地方の県敬の社であった。この神社については、天竺まかだ国の末姫をまったとの伝説もある。

また、神社下を流れる御手洗川についても、鰻、鮒は神の使者としてとることを禁じた記録や、それについての訴え等が伝えられている。

◎皆倉の庚申塔（かのえさっとん）

薩藩では、一向宗（真宗）を禁止したため、庶民の間では、中国から伝ったかのえ申供養の信仰が盛になった。

皆倉のかのえ申塔は、寛政四年（一七九二年）にできたもので、約一八〇年を経た今日でも、ほとんど完全なまま保存されている。

◎淵之上神社の仁王像

江戸中期ごろ建立されたと考えられる仁王像がある。おそらく近くにあったお寺に立てられていたものを、明治初年の廃仏毀釈（きしゃく）のおりなげすてられていたものを後で集め移したものと考えられ、腕や顔など破壊され、当時の仏教追放のひどかったことがしのばれる。

◎板碑類

塩屋の遊喜浦の水田にある高さ約二米七〇糎、幅約五〇糎のものをはじめ、大小さまざまの板碑が見受けられます

これは一種の供養塔で亡くなった人の霊を弔う意味から昔の人が建立したものとされています。

◎西郷南洲の書

南洲翁の書は、町内にも数点あるかと考えられますが、長浜正衛氏所蔵のものには、ワラ筆で煎茶用のホイロ紙に書かれたものがあり、ワラ筆による書だけに貴重なものとされています。

◎カワゴロモ

町内を流れる神川の上流、水のきれいな所に生育する水中顕花植物。神川、雄川、高須川のごく一部に分布し、神川、雄川の一部が昭和三九年に県の天然記念物として指定されています。

現在おもに熱帯地方に分布しているものが九州南部に、生育していること、水中で花が咲いてふえる、という点でめずらしい植物とされています。